

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エージーピー

コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉本 学

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 金子 晋也

TEL 03-3747-1631

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,433	△5.3	295	△18.6	257	△19.2	89	△39.0
23年3月期第3四半期	7,850	△3.4	363	△31.5	318	△34.9	146	△40.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 85百万円 (△42.8%) 23年3月期第3四半期 150百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	6.42	—
23年3月期第3四半期	10.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,285	5,718	50.7
23年3月期	12,154	5,757	47.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 5,718百万円 23年3月期 5,757百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,940	△7.5	339	△35.1	289	△37.1	73	△65.1	5.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき、上記のとおり修正いたしました。なお、詳細につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	13,950,000 株	23年3月期	13,950,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,857 株	23年3月期	1,857 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	13,948,143 株	23年3月期3Q	13,948,143 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災などの影響により依然として厳しい状況にあるなかで緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州をはじめとした海外経済の減速や円高の影響などから景気の下振れ懸念が残っております。

航空業界では、航空各社による路線の運休・減便からは次第に戻りつつあるものの、機材の小型化が引き続き進行しており、また、原子力災害や円高などの影響により訪日需要がまだまだ低迷し、依然として本格的な回復には至っておりません。

このようななか、当四半期の売上高は、動力事業では、羽田空港新国際線地区供用開始による販売増があったものの、機材の小型化や運休・減便などにより特に成田空港で影響をうけ、前年同期比 2 億 78 百万円 (7.1%) 減の 36 億 45 百万円となりました。整備事業では、顧客の経費削減施策の継続・強化により、成田空港における空港関連施設の保守管理基本契約や別件作業の減があったものの、関西空港における手荷物搬送設備の補修工事の受注等により、35 百万円 (1.2%) 増の 30 億 23 百万円となりました。付帯事業では、フードコート販売において前年同期に大型案件があった反動等により、1 億 75 百万円 (18.6%) 減の 7 億 64 百万円となりました。

以上により、売上高合計は、4 億 17 百万円 (5.3%) 減の 74 億 33 百万円となりました。

営業費用では、羽田空港新国際線地区動力供給設備の減価償却費の増があったものの、動力事業および付帯事業での販売減に伴う原材料費の減、効率的な人材運用の実施による人件費の削減や管理可能経費の削減に努め、3 億 50 百万円 (4.7%) 減の 71 億 37 百万円となりました。

この結果、営業利益は 67 百万円 (18.6%) 減の 2 億 95 百万円、経常利益は 61 百万円 (19.2%) 減の 2 億 57 百万円となりました。これに平成 23 年 12 月 2 日に公布された、改正法人税法および復興財源確保法により、税効果会計に適用される法定実効税率の変更に伴う法人税等調整額の増も加味した結果、当四半期純利益は 57 百万円 (39.0%) 減の 89 百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度 (以下「前期」という) 末に比べて 92 百万円 (1.9%) 減の 46 億 84 百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が 1 億 99 百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前期末比 7 億 77 百万円 (10.5%) 減の 66 億円となりました。これは、主に有形固定資産が 6 億 89 百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前期末に比べて 8 億 69 百万円 (7.2%) 減少して 112 億 85 百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前期末に比べて 4 億 53 百万円 (24.3%) 減の 14 億 10 百万円となりました。これは、営業未払金が 1 億 13 百万円、その他の流動負債が 2 億 58 百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前期末比 3 億 75 百万円 (8.3%) 減の 41 億 56 百万円となりました。これは、長期借入金が 3 億 81 百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前期末に比べて 8 億 29 百万円 (13.0%) 減少して 55 億 67 百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前期末に比べて 39 百万円 (0.7%) 減少して 57 億 18 百万円となりました。これは、当四半期純利益および剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が 36 百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高については前回予想を若干下回る見込みですが、人件費や管理可能経費など営業費用の削減に努めた結果、営業利益、経常利益については、前回予想を上回る見込みです。

当期純利益については、平成 23 年 12 月 2 日に公布された改正法人税法および復興財源確保法により、税効果会計に適用される法定実効税率が変更されることに伴う法人税等調整額の増により修正するものであります。

これにより、平成 23 年 10 月 27 日に開示いたしました平成 24 年 3 月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,163,395	1,786,072
受取手形及び売掛金	1,519,832	1,320,352
有価証券	390,430	890,633
商品及び製品	51,765	63,414
仕掛品	81,804	124,958
原材料及び貯蔵品	220,986	267,360
その他	348,523	231,933
流動資産合計	4,776,738	4,684,725
固定資産		
有形固定資産		
構築物	8,663,831	8,667,940
減価償却累計額	△6,162,057	△6,478,674
構築物(純額)	2,501,774	2,189,265
機械及び装置	7,842,189	7,905,877
減価償却累計額	△5,749,150	△6,022,645
機械及び装置(純額)	2,093,039	1,883,232
その他	1,934,653	1,935,367
減価償却累計額	△1,027,116	△1,138,825
その他(純額)	907,537	796,542
土地	110,608	110,608
建設仮勘定	475,912	419,285
有形固定資産合計	6,088,871	5,398,934
無形固定資産		
その他	69,913	51,786
無形固定資産合計	69,913	51,786
投資その他の資産		
その他	1,228,013	1,159,376
貸倒引当金	△8,900	△9,425
投資その他の資産合計	1,219,113	1,149,951
固定資産合計	7,377,898	6,600,671
資産合計	12,154,636	11,285,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	498,443	384,812
未払法人税等	97,715	15,730
その他	1,267,934	1,009,761
流動負債合計	1,864,092	1,410,304
固定負債		
長期借入金	2,818,750	2,436,800
退職給付引当金	1,352,728	1,442,708
資産除去債務	31,901	31,690
その他	329,195	245,514
固定負債合計	4,532,574	4,156,713
負債合計	6,396,667	5,567,017
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	3,604,837	3,568,831
自己株式	△630	△630
株主資本合計	5,757,657	5,721,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	311	△3,271
その他の包括利益累計額合計	311	△3,271
純資産合計	5,757,968	5,718,379
負債純資産合計	12,154,636	11,285,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,850,770	7,433,070
売上原価	6,889,288	6,585,665
売上総利益	961,482	847,404
販売費及び一般管理費	598,360	551,720
営業利益	363,121	295,684
営業外収益		
受取利息	2,429	1,926
受取配当金	80	534
その他	4,110	3,199
営業外収益合計	6,619	5,661
営業外費用		
支払利息	50,897	43,446
その他	580	720
営業外費用合計	51,477	44,166
経常利益	318,263	257,179
特別利益		
固定資産売却益	—	24
特別利益合計	—	24
特別損失		
固定資産除却損	1,840	1,116
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,235	—
貸倒引当金繰入額	125	2,825
その他	982	—
特別損失合計	23,183	3,941
税金等調整前四半期純利益	295,079	253,261
法人税、住民税及び事業税	86,603	93,231
法人税等調整額	61,702	70,502
法人税等合計	148,306	163,734
少数株主損益調整前四半期純利益	146,773	89,527
四半期純利益	146,773	89,527



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	146,773	89,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,382	△3,583
その他の包括利益合計	3,382	△3,583
四半期包括利益	150,155	85,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,155	85,944

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,924,001	2,987,705	939,063	7,850,770
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	9,251	9,251
計	3,924,001	2,987,705	948,315	7,860,022
セグメント利益	370,766	290,328	203,992	865,087

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	865,087
全社費用（注）	△501,965
四半期連結損益計算書の営業利益	363,121

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,645,306	3,023,700	764,063	7,433,070
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,690	3,690
計	3,645,306	3,023,700	767,753	7,436,760
セグメント利益	187,038	402,594	169,517	759,150

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	759,150
全社費用（注）	△463,466
四半期連結損益計算書の営業利益	295,684

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。